

井戸端 通信 Web 版 (No.2)

講座紹介	講座名	俳句を作る 富山を語る		
	講座番号	U1175	県民教授 氏名	森川 敬三

平成 28 年度の「自遊塾」塾生募集開始にあたり、昨年度講座の活動内容を一部紹介します。



【塾生の作品】

起きぬけの肩のさびしさ霜来たる	東 智子
今年米ずしりと重い袋立つ	田 畠 宏
配達のパイク素通り秋あかね	河岸 佳子
初紅葉頭上注意の標あり	中井千佳子
身の丈に生きて今年の除夜の鐘	島津 淑子
崖の端に野菊の花は咲きにけり	田中 良裕
朝ごはん何より先に心太	横沢 秀典
我が嵩の湯のあふれたる初湯かな	稲山 規子
繭玉や孫の笑顔に福来たる	大島 昭夫
木枯の颯然として苔の庭	金井 幹雄

俳句で日々の暮らしに潤いを

塾生 長井田 鶴子

知人に誘われた句会で俳句と出会い、俳句作りの力量を高めるために自遊塾の講座を受講しました。納得のいく句が作れず四苦八苦することも多いのですが、県民教授の適切なアドバイスと句会の和やかな雰囲気のおかげで、月一回の講座が日々の句作の励みとなっています。句会では他の塾生の俳句に親しむことで、句ができた過程や句への思いを聞けるので俳句作りの参考にしています。まだまだ拙い句しか作れませんが、「継続は力なり」と俳句を日々の生きがいにしています。

俳句に関心のある方、富山が大好きな方、ぜひ受講してみませんか。

大旦諸手
でつくる遠眼鏡
森川 敬三

木犀の香り
たかきや朝の窓
竹林ひろ子

うちそろひ立山
仰ぐ初日影
亀谷 正恵

裸木の夜は風
の音星の声
得地みさを

天空に香り
ただよい秋の蜂
長井田 鶴子